

選手たちのプレー中は

お静かに!

Quiet Please!

公益財団法人 日本パラスポーツ協会

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町2-13-6-3F

[TEL] 03-5939-7021 [FAX] 03-5641-1213

[HP] <https://www.parasports.or.jp/> [FB] <https://www.facebook.com/jpsasports>

2022年3月 発行

● パラスポーツの情報や動画は
日本パラスポーツ協会HPへ



● 最新情報を随時更新中!
日本パラスポーツ協会FBへ



かんたん!

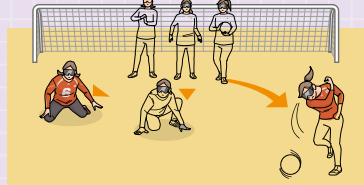
ゴールボールガイド

応用テクニック

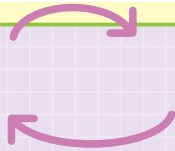
お互いが声を出し合い、位置を確かめてからパスを交換することがあります。床に転がしてパスする場合もありますが、直接手渡してパスをすると音がしにくいいため、相手にボールのありかを把握させにくい効果があります。



投球時に、複数の選手が同時に動くことで、誰が投球するか相手にわかりにくくします。



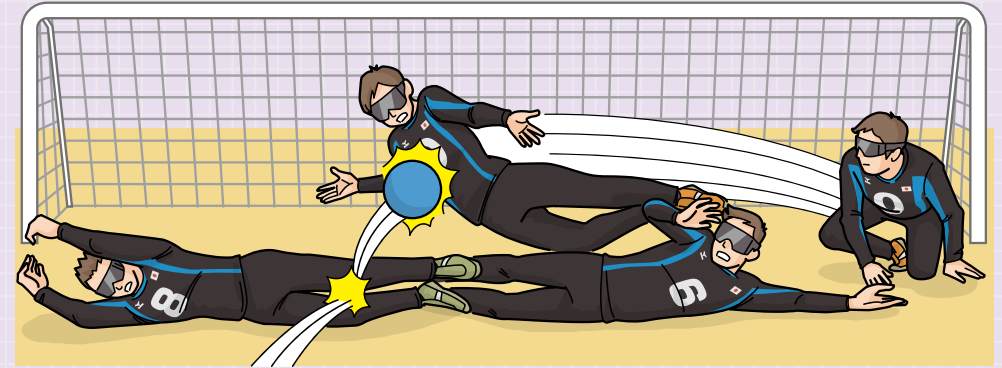
自分の守備位置を離れ、投球後には速やかに元の位置に戻るのが移動攻撃。自分や味方の位置を完全に把握していなければできない技術です。



ボールを捕球後にすばやく投げ返す攻撃で、移動攻撃などで守備が整っていないうちに攻撃を仕掛けます。守備でボールに集中していながらも、相手選手の様子も観察し、チャンスと判断したら速い攻撃に移ります。

ボールに回転をかけたり、強い力で床にボールを叩き付けて投球することで、相手の守備を飛び越えてゴールを狙います。特に男子選手の試合で見られ、守備側も空中のボールをストップさせる技術が必要です。

バウンドボールなど多彩な攻撃で得点を狙う一方で、守備ではそんな攻撃に対抗すべく、守備を乗り越えてしまったボールをゴール前で死守するカバーリングを行っています。



瞬時のレスポンスがスゴイ!

音を頼りにプレーする選手たちですが、男子のトップ選手になるとその球速は初速で時速60~70kmとされています。例えば、ボールがランディングエリアでバウンドした位置から、守備側の選手が構える位置までの距離は約9m。もし時速70kmのボールを投げたとすると、約0.5秒で守備位置までボールが到達する計算になります。つまり、選手たちは0.5秒の間にどの方向にどんなボールが来るかを判断し、反応しなければなりません。トップ選手になれば、投球前の助走の足音でその方向を予測し、最初にバウンドした音で高いバウンドのボールなのか、鋭く低いボールなのかなどを判断して守備するといわれています。選手たちの研ぎ澄まされた感覚に注目してみてください。

約 を 秒で到達することも!



応援ガイド

選手は、ボールの中に入った鈴や、相手選手が動く足音など、かすかな音を頼りにプレーしているので、試合は静寂の中で行われます。

選手に声援を送ることができるのは、オフィシャルブレイク中（ゲームタイマーが止まっている間）のみ。大会では音楽を流して応援できるタイミングがわかるよう工夫しています。その間には盛大に声援していただき、選手がプレーしている間は応援したい気持ちをグッとこらえて、心の中で声援を送ってください。選手たちはそれを力に代えて、果敢にプレーします！

プレーが始まる前に審判が「クワイエットプリーズ！（Quiet Please!）」（お静かに！）のコールをします。これが静かにする合図。

ゴールが決まった直後やゲームタイマーが止まった時だけ大きな歓声を送ってください。



パラリンピックでは客席が観客で埋め尽くされますが、プレー中の会場内は静寂に包まれています



選手も得点が入ると声を出して喜びを表します



静かにしなければいけないタイミングはボードを掲げて観客に周知します

もっとゴールボールを知りたい!

● ジャパンパラ競技大会



公益財団法人日本パラスポーツ協会が各競技団体と共催し、強化を目的に開催している大会。ゴールボール競技大会では、海外チームを招き、女子チームによる国際大会を行っています。

● 日本選手権大会

1995年から始まり、毎年行われている日本ゴールボール選手権大会。（一社）日本ゴールボール協会の主催で行われているこの大会には、予選を勝ち抜いたクラブチームが集結し、日本一の座をかけて争います。競技は男女それぞれで行われ、最優秀選手賞（MVP）や最多得点賞（MGP（Most Goal Player））の個人賞も選出されます。



ゴールボールを体験しよう!

国内で行われる上記大会などでは、体験会を実施することがあります。実際にアイシェードを装着して、視覚を塞がれた状態での投球や捕球を体感してみてください。選手のすごさがわかるとともに、競技観戦が一層楽しくなること間違いありません。

